

行政事業レビューシート (内閣府)						
予算事業名	社会・国民に支持される科学技術の実現に向けた取組み		事業開始年度	平成18年度	作成責任者	
担当部局庁	政策統括官 (科学技術政策・イノベーション担当)		担当課室	参事官(重点分野担当)	加藤 誠実	
会計区分	一般会計		上位政策	科学技術政策の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	科学技術基本法(平7法130)、 内閣府設置法(平11法89)第26条		関係する計画、 通知等	第3期科学技術基本計画 (平成18年3月28日閣議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	科学・技術が及ぼす倫理的・法的・社会的課題への責任ある取組を推進するための、情報発信、国民との対話を行う。また、科学・技術が社会・国民に支持されるものとなるような取組を進め、ルール作りに向けた国民の合意形成を図る。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	生命倫理やナノテクノロジーの社会受容・責任ある推進等の課題について、シンポジウムや公聴会を開催し、社会・国民からの理解・支持を得るための広報・公聴活動を推進する。					
実施状況	一般傍聴者(約150名)を交えた先端医療開発特区(スーパー特区)シンポジウムを開催し、本スーパー特区に採択された研究課題の成果等について情報発信し、国民理解の推進を図った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	8	3	3	3	2
	執行額	0.3	4	2		
	執行率	4%	133%	67%		
	総事業費(執行ベース)	0.3	4	2		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	十分に把握している。 ・会議に必要な経費、関係者への会議出席等のための支払いは規定に従い会計担当部門が直接実施しており支出先・用途を十分に把握している。				
	見直しの 余地	この事業は、他の予算事業における国民への情報発信等との統合により、効率化等を図ることを検討する。				
予算監 視の 所 見 率 化	見直しの余地のとおり、国民向けの広報・広聴活動経費について、事業統合等を含めた抜本的な見直しを図るべき。					
補 記						

政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)
1.9百万円

総合科学技術会議関連経費
(謝金、旅費等)
1.7百万円

科学・技術が社会・国民に支持されるよう、シンポジウムや公聴会などを広報、広報活動を推進する。

総合科学技術会に関連する会議等の開催、関係会議出席、現地調査等のために必要な謝金、旅費

【一般競争入札】

A. (株)会議録研究所
0.2百万円

会議の開催にあたり、速記や議事録を作成するために必要な経費

【随意契約(少額)】

B. 佐伯印刷(株)
0.1百万円

シンポジウムの案内を印刷製本するために必要な経費

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(株)会議録研究所			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
速記反訳	会議の速記及び議事録作成の経費	0.2			
計		0.2	計		0
B.佐伯印刷(株)			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
印刷製本	会議案内の印刷製本に必要な経費	0.1			
計		0.1	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)